

# ここは昔

# 海だった

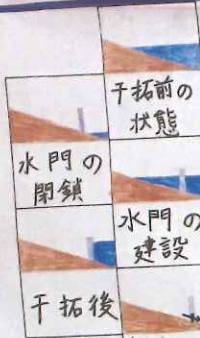
## 干拓調査新聞

高崎花菜  
青田秀翔  
徳永潤

作 汰翔

干拓とは、遠浅の海や干潟、水深の浅い湖沼やその浅瀬を仕切り、その場の水を抜き取り、陸地にする事。干拓された土地を干拓地と言う。

干拓の方法として、まず、堤防で水域を仕切り、その上で動力によって強制的に仕切内の水を排水し干上るにさせる。または、海の場合、潮の干満を利用する。法も取られる。干潮時に水門を開き海水を排し、満潮時には水門を閉じて干上がらせる。



排水 (干潮のための) 方向に排水させる



干拓の方法として、まず、堤防で水域を仕切り、その上で動力によって強制的に仕切内の水を排水し干上るにさせる。または、海の場合、潮の干満を利用する。法も取られる。干潮時に水門を開き海水を排し、満潮時には水門を閉じて干上がらせる。

干拓は、その生い立ちから、火が低地になっていきます。干拓とは、(1)干潟を堤防で囲んで締め切る。(2)堤防に水門をつけて干潮のときに海に排出する。(3)満潮のときは水門を閉じて海水の逆流を防ぐもの。

このように方法で、水面下の干潟を強制的に陸地にしたものです。このため干拓地は満潮のとき必ず海面より低くなるのです。堤防には、昔あつた石がみあつた。作られた石がみあつた。

干拓による環境破壊

干拓される対象となる水域の生態系が形成されている個所では、元々あつた生態系を破壊し、まうこととして問題視されるのである。

Q 大浜町を干拓したのはだれ?

- ① 加藤清正 ② 細川家
- ③ 豊臣秀吉 ④ 徳川家康

答え めくって!!

Q 鳥帽子は、今から約何年前に作られた?

- ① 100年 ~ 150年
- ② 150年 ~ 200年
- ③ 200年 ~ 250年
- ④ 250年 ~ 300年

答え めくって!!

### 感想

かつては、干拓の方法や干拓によって環境破壊がおおきくあつた。ぼくは、大浜の人々の手で干拓を開けて今の大浜があるのだから、感謝しかないです。

干拓による環境破壊。干拓される対象となる水域の生態系が形成されている個所では、元々あつた生態系を破壊し、まうこととして問題視されるのである。

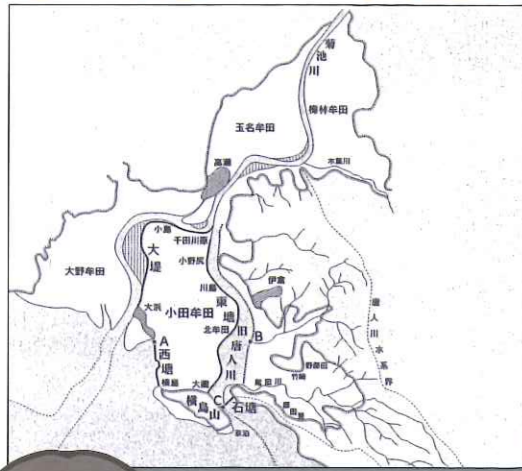


# 干拓の歴史を紐とく

戦国時代の武将、加藤清正が肥後藩に入国したときに始まったといわれています。

- 1589年（天正17年）… 加藤清正が干拓に着手。
- 1605年（慶長10年）… 加藤清正が石塘を築く。
- 1823年（文政6年）… 小田手永が一夜開を干拓。
- 1831年（天保2年）… 小田手永が鯨油開を干拓。
- 1891年（明治24年）… 坂本平次、宮尾徳平、大仁田茂次が烏帽子開を干拓。
- 1895年（明治28年）… 坂本平次 外が末広開を干拓。
- 1913年（大正2年）… 早野義章 外13名が有明開を干拓。

# 川の流れの変化と時代とともに進む干拓

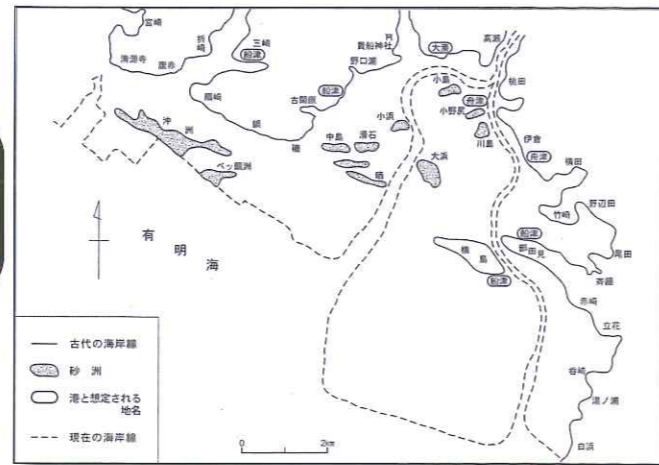


出典：玉名市教育委員会発行「玉名市の干拓遺産」

昔は、玉名湖があったんだね。干拓した広さは3,600haにもものぼっていたそうだよ。

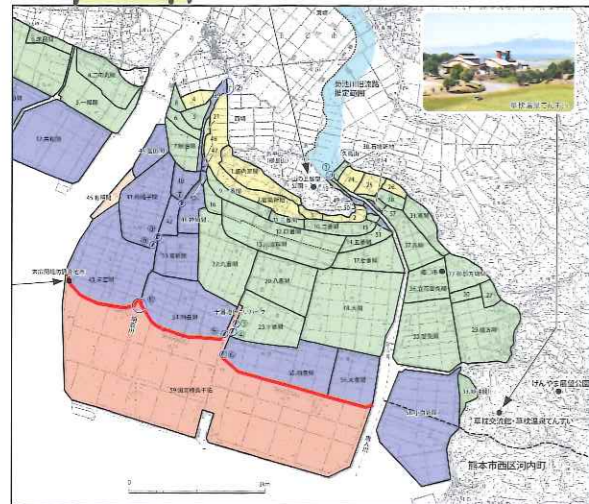


それで広い土地が出来て人が住めるようになり、田んぼや畑が生まれたんだね。



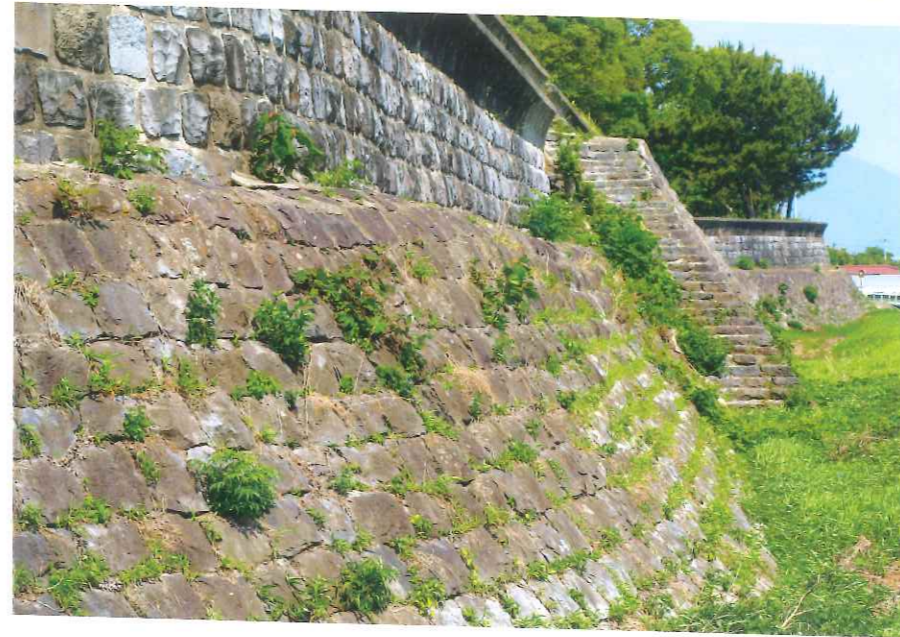
出典：玉名市教育委員会発行「玉名市の干拓遺産」

60回以上の干拓を通して、これだけ広い土地を用地として使えるようにしたんだね。すごいな～



出典：玉名市教育委員会発行「玉名市の干拓遺産」

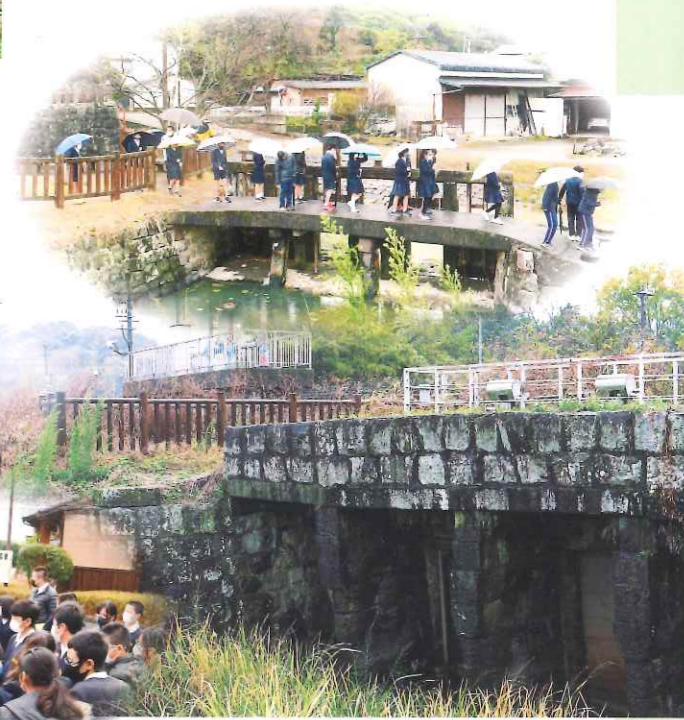
# 先人の工夫と努力の結晶



## ① 堤防の調査

**Q** 堤防の石の積み方はどうして違うの？

**A** 何度も壊れては作り直したり、より高く作ったりを繰り返してきたから、作った時代によって、積み方が違うんだよ。



## ② 石塘の調査

**Q** どうして、人柱伝説があるの？

**A** 流れの強い場所だから、何度も壊れては作り直し、どうにかして成功させようという人々の願いがとても強かったんだよ。だからこの伝説は、今でも語り継がれているんだね。



## ③ 六枚戸の調査

**Q** どうして、堤防なのに戸をつけたの？

**A** 水が海に出るけど、海水が入ってこないようにするためだよ。水が一方通行で流れるように、たくさんの工夫がしてあるんだね。

# 伝えよう、これからも未来へ

加藤神社について知り、加藤清正さんが、石塘を作ったことがわかり、すごいと思いました。

身近にある堤防の歴史を作った人たちのことを知ることができてよかったです。

### 六枚戸の秘密

六枚戸の秘密とは、江戸時代初期に、加藤清正が築いた石塘の歴史を、現代の子供たちが知るための記事です。

石塘は、加藤清正が築いた堤防で、大浜町の歴史を伝える重要な存在です。

記事には、石塘の構造や、加藤清正の功績、そして現代の子供たちが感じる「秘密」が詳しく紹介されています。

### 石塘スクープ

石塘に隠された秘密をスクープ！

加藤清正の石塘は、単なる堤防ではなく、大浜町の発展を支えた重要な施設でした。

記事には、石塘の建設経緯や、当時の生活の様子、そして現代の子供たちが感じる「スクープ」が詳しく紹介されています。

### 堤防調査

堤防の長さは何m?

調査結果:

- ① 1300m
- ② 3300m
- ③ 5200m

正解: ③ 5200m

この調査は、大浜町の歴史を学ぶための重要な活動です。

六枚戸の秘密を知れてよかったです。もっといろんなことを知りたいです。

新九郎という海賊が、昔玉名にいたことを知ってびっくりしました。

### 菊池川流域の歴史

菊池川流域の歴史を詳しく紹介する記事です。

記事には、菊池川の源流、流域の文化、そして現代の子供たちが感じる「歴史」が詳しく紹介されています。

### 海賊の謎の新聞

海賊の謎を解くための新聞記事です。

記事には、海賊の活動範囲、被害状況、そして現代の子供たちが感じる「謎」が詳しく紹介されています。

昔の人たちの暮らし方や文化を知ることができたので、もっと他のことも調べてみたいです。

### 大浜小学校校歌

作詞 猿渡幸男  
作曲 古城秀雄

一 平和の光 身にあって  
仰ぐ命の光 三ノ岳  
若くは命の歌 ぼくたちが  
希望の歌も 高らかに  
楽しい楽しい 大浜小学校

二 菊池の流れ 水清く  
ここに鍛えた 身と心  
世界を結ぶ 私らが  
伸びゆく伸びゆく 一筋に  
仲びゆく仲びゆく 大浜小学校

三 栄える町に 実る野に  
磨く知徳も はつらつと  
文化をそえる よい子らが  
花咲く丘を めざしつづつ  
輝く輝く 大浜小学校

菊池川河口に位置する玉名市大浜町は、加藤清正の干拓着手に始まり、幾度となく干拓を行い人々の暮らしを發展させてきました。

今回大浜小学校6年生が、大浜町の歴史や文化について調べ、現地を見学する中で先人の思いや努力、工夫について知ることができました。

このリーフレットは、そのときの様子や子供たちの発言・感想とともに、学びの足跡を記録したものです。

南北朝時代(文中元年/1372年)に風波の被害を受けた干拓地(崇玄新開/玉名市大浜町)の堤防修理に関する記録があります。

加藤清正の石塘築堤以前にも集落の周辺に小規模な干拓が営まれたと考えられます。

発行: 菊池川流域の恵み体験協議会  
資料提供・協力者: 大浜町の歴史と文化を伝承する会、戸寄孝行、杉本広生  
編集者: 松下哲也  
本リーフレットは熊本県の支援を受け作成しました。

印刷: 株式会社 有明印刷  
熊本県玉名市寺田123-1 TEL: 0968-73-2055  
2022年2月(令和4年)発行